

総合学科推進部通信

第12号

令和6年3月22日

群馬県立渋川青翠高等学校

今年度より「総合学科推進部」という分掌が4年ぶりに復活し、総合学科である本校の特徴的な教育活動を紹介してきました。今年度の最終号では、この1年間の取り組みを振り返り、総括していきます。

1年生：産業社会と人間＝「広げる」

キャンパス・企業見学や福祉交流、外部講師による講話、総合学科の特長である「系列」の選択、2年次の時間割作成等をとおり、自分自身や社会を知り、未来を描き、視野を「広げて」きました。2月に実施したライフプランの作成・発表は、1年生各自の内面的な成長を感じました。



2年生：自己探究セミナー＝「深める」

上級学校や企業の調べ学習、外部講師による分野別進路ガイダンス、志願理由書の作成・演習等をとおり、進路を見据えながら、自分自身に必要な知識や技能を「深めて」きました。特に、11月の修学旅行以降、進路に対する意識が深まった生徒がかなり増えたように感じます。



3年生：総合研究＝「踏み出す」

各自で研究テーマを設定し、調査研究や発表をとおりて専門知識や技能を高め、自らの生き方や在り方について深めるとともに、進路実現や新しい環境へと「踏み出し」ました。発表のみならず、各自が工夫を凝らして作成したスライドや最後に提出したレポートなど、まさに総合学科ならではの教育活動の成果と言えます。



◎このような独自のキャリア教育をとおり、「信頼される社会人として活躍する力」を育み、3年生は卒業していきました。在校生も新年度の活動を主体的に取り組んでいきましょう。